

県勢動態指標

平成28年4月報告分

1 気象 ～月平均気温は平年を上回り、月降水量は平年を下回る～

(高松:28年3月) 月平均気温は、10.3℃と平年(8.9℃)を1.4℃上回った。
月降水量は、72.5mmと平年(82.5mm)を10.0mm下回った。

2 人口 ～自然動態・社会動態ともに減少～

(香川県:28年3月1日現在 平成27年国勢調査の速報値を基に推計しています。)

推計人口 975,200人 前月に比べ608人の減少となった。

自然動態で423人の減少(出生640人、死亡1,063人)

社会動態で185人の減少(転入2,200人、転出2,385人)

市町別にみると、多度津町の14人、まんのう町の11人と2町で増加、

高松市の△187人、観音寺市の△80人など8市5町で減少した。

世帯数 398,884世帯 前月に比べ52世帯の増加となった。

3 鉱工業生産指数 ～3か月ぶりに上昇～

(香川県:28年1月) 生産指数(季節調整済指数 H22=100) 102.2 前月比で6.0%上昇した。

上昇に寄与した主な業種:化学・石油石炭製品工業(医薬品)、その他工業(ゴムホース)

低下に寄与した主な業種:はん用・生産用機械工業(貯蔵槽)、輸送機械工業(鋼船)

(全国:28年2月) 生産指数(季節調整済指数 H22=100) 93.6 前月比で6.2%低下した。

経済産業省は基調判断を「生産は一進一退」としている。

輸送機械工業、電子部品・デバイス工業、はん用・生産用・業務用機械工業等が低下し、石油・石炭製品工業、窯業・土石製品工業が上昇した。

4 物価 ～前年同月比、今月は上昇—総合—(高松市)～

消費者物価指数(総合)(H22=100)

(高松市:28年2月) 103.0 前月と同水準

上昇に寄与した主な項目:生鮮野菜、教養娯楽サービスなど

下落に寄与した主な項目:自動車等関係費、穀類など

前年同月比0.3%上昇

上昇に寄与した主な項目:洋服、シャツ・セーター類など

下落に寄与した主な項目:自動車等関係費、家賃など

(全国:28年2月) 103.2 前月比0.1%上昇

上昇に寄与した主な項目:生鮮野菜、教養娯楽サービスなど

前年同月比0.3%上昇

上昇に寄与した主な項目:生鮮果物、教養娯楽用耐久財など

5 百貨店・スーパー販売状況 ～全店ベース 11か月連続で前年同月を上回る～

(既存店ベース 2か月連続で前年同月を上回る)

百貨店・スーパー販売額

(香川県:28年2月) 113億1,233万円と前年同月比で4.3%増加 うち既存店の状況は、前年同月比で2.9%増加
飲食料品、その他の商品などで前年を上回った。

(全国:28年2月) 1兆4,886億円と前年同月比で3.2%増加 うち既存店の状況は、前年同月比で2.2%増加

※参考

専門量販店販売額(28年2月) ()は前年同月比、全店ベース

	香川県		全国	
家電大型専門店	20億1,500万円	(0.4%増加)	家電大型専門店	2,989億2,900万円 (1.2%減少)
ドラッグストア	29億7,200万円	(6.9%増加)	ドラッグストア	4,422億5,600万円 (10.4%増加)
ホームセンター	18億1,200万円	(1.8%増加)	ホームセンター	2,222億8,900万円 (1.7%増加)

6 労働 ～有効求人倍率 低下～

有効求人倍率 28年2月 (季節調整済)

(香川県) 1.51倍 (全国第7位) (55か月連続で1倍台) (前月6位) 前月より0.03ポイント低下
月間有効求職者数 16,979人 月間有効求人数 27,902人 就職件数 1,804件
正社員の有効求人倍率(原数値) 1.07倍
(全 国) 1.28倍 前月と同じ水準
(徳 島) 1.24 22位 (愛 媛) 1.34 15位 (高 知) 1.05 38位 (岡 山) 1.52 6位

常用雇用指数 事業所規模30人以上(H22=100)

(香川県:28年1月) 102.2 前年同月比で1.8%上昇
(全 国:28年2月) 100.8 前年同月比で0.9%上昇

所定外労働時間指数 事業所規模30人以上(H22=100)

(香川県:28年1月) 102.5 前年同月比で0.8%上昇
(全 国:28年2月) 103.3 前年同月比で2.4%低下

完全失業率

(全 国:28年2月 季節調整済) 3.3% 前月比で0.1ポイント上昇
(香川県:27年10-12月 モデル推計値) 2.7% 前年同期比で0.2ポイント低下

7 倒産状況 ～件数・負債総額ともに 前年同月を下回る～

(香川県:28年3月) 企業倒産(負債額1,000万円以上)
件数 4件 前年同月と比べ3件減少
負債総額 9億1,300万円 前年同月と比べ2,600万円減少

8 主要観光地観光客数 ～四大観光地入込み人数 5か月ぶりに前年同月を上回る～

(四大観光地:28年2月) 入込み人数は、192,507人と前年同月比で9.6%増加した。
(栗林公園) 47,374人 0.8%増加 (屋 島) 37,425人 28.2%増加
(琴 平) 40,000人 11.1%増加 (小豆島) 67,708人 6.8%増加

9 瀬戸大橋通行台数 ～日平均交通量 4か月連続で前年同月を上回る～

(28年3月) 通行台数(日平均) 22,592台 前年同月比で2.8%増加 (606台)

10 航空機(羽田線) ～利用者数 2か月連続で前年同月を上回る～

(28年3月速報) 利用者数 112,331人 前年同月比で2.1%増加
利用率 68.6% 前年同月と比べ5.2ポイント上昇 座席数は前年同月比5.6%減少
※参考 那覇便 利用者数 9,658人 前年同月比で0.3%減少
(28年3月速報) 利用率 64.9% 前年同月と比べ7.0ポイント上昇 座席数は前年同月比11.1%減少
ソウル便 利用者数 3,486人 前年同月比で6.2%減少
利用率 78.9% 前年同月と比べ2.0ポイント上昇 座席数は前年同月比8.5%減少
上海便 利用者数 5,540人 前年同月比で4.5%減少
利用率 85.5% 前年同月と比べ4.1ポイント低下 座席数は前年同月と同水準
台北便 利用者数 5,155人 前年同月比で12.3%増加
利用率 77.7% 前年同月と比べ1.0ポイント上昇 座席数は前年同月比10.9%増加

11 交通事故発生状況 ～死者数 前年同月と同数～

(香川県:28年3月速報) 交通(人身)事故発生件数 598件 前年同月(656件)と比べ58件の減少
死者数 3人 前年同月(3人)と同数
負傷者数 747人 前年同月(805人)と比べ58人の減少